

## R3-10 日常の学びと災害時の避難行動を結び付けた「1日防災学校」

- 管内 空知管内
- 分類 避難訓練 危険対応能力 防災訓練 その他（ ）
- 教育課程 教科（複数教科） 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 1 日常の学びと災害時の避難行動を結び付けた「1日防災学校」の実施
- 2 避難を想定した体験的な学習など、知識と避難時の行動を結び付ける工夫

### 取組の実際

#### ねらい

- 国語・数学・理科・家庭・保健体育・外国語の6教科での学びを災害時の避難行動と結び付けることにより、災害時に命を守るための行動を主体的に考え、実践できる態度を育成する。

#### 内容

### 1 6教科での防災関連授業（生徒の学んだ内容）

- (1) 1学年「保健」～身近なもので行う応急手当  
骨折した腕を固定するために、避難時にも身近にあるダンボールや教科書、支柱カバーなどをいかに活用するか試行錯誤する中で応急手当の方法を学んだ。
- (2) 2学年「国語表現」～家族の避難マニュアルづくり  
平成30年9月の胆振東部地震の際の大停電を想起し、避難時に命を守るために必要なものを考え、避難所までの道のりを地図に表し、小学生に対して、どのように説明したら理解が得られるかを考えた。
- (3) 2学年「コミュニケーション英語Ⅱ」～外国人との避難  
外国人と共に避難をすることや、実際のやりとりを想定して英語の防災関連語句やフレーズを学んだ。
- (4) 3学年「地学基礎」～地震発生の仕組み  
模型を用いて地震発生の仕組みを学んだ。
- (5) 3学年「フードデザイン」～防災食を作ろう  
避難時を想定した炊事方法や、保存食・非常食について体験的に学んだ。
- (6) 全学年共同授業「数学Ⅰ」等～避難にかかる時間と距離  
学年の枠を越え、4つのグループに分かれて、避難場所までの移動距離と速さを計算し、実際に計算上の時間で避難できるか確かめた。生徒たちは、3年生をリーダーに、非常時にも責任ある行動を取ることの大切さを学んだ。



【外国人との避難を想定】



【保存食体験】



【避難場所までの距離を計算】

### 2 消防署と連携した避難訓練

午前中の各科目での学びを通して、避難行動への意識を高めた上で、午後は避難訓練を行った。整然と避難行動を行う姿からは、この日の成果が見て取られ、例年以上に、緊張感のある避難訓練となった。

#### 成果と課題

- 6教科に渡って多方面から防災と避難時の責任ある行動について学ぶことにより、主体的に避難訓練に参加することができた。午前の学びを午後の避難訓練に生かすことができた。
- 外部講師等を活用しながら、実践的な学びとなるよう一層工夫する必要がある。